

## 河北新報のニュースサイト・コルネット

宮城のニュース

# 震災後初の大規模店オープン 南三陸に薬王堂



地元の買い物客でにぎわう薬王堂宮城志津川店

ドラッグストアの薬王堂(岩手県矢巾町)は17日、宮城県南三陸町志津川に「宮城志津川店」を開設した。町産業振興課によると、東日本大震災後、生活用品全般を扱う大規模な常設店が町内にオープンするのは初めて。

鉄骨平屋で売り場面積は約980平方メートル。医薬品や生活雑貨、冷凍食品などを扱う。薬王堂は2010年6月に海から0.8キロ離れた場所に志津川店を開設したが、津波で被災した。

新店はさらに約1キロ内陸で、津波の浸水域だが商業施設の立地は認められている。

初日は待望の大規模店誕生に、開店直後から買い物客が詰め掛けた。同町の農業元木啓子さん(73)は「復興を実感する。登米や石巻に買い物に行くのは大変。後はスーパーやホームセンターが早く出来てほしい」と話した。

2013年05月18日土曜日

Copyright © KAHOKU SHIMPO PUBLISHING CO.